

2025 年 11 月 7 日

Press Release

報道関係・教育担当記者 各位

人類学博物館・人類学研究所主催
2025 年度第一回映画上映会 開催のお知らせ

平素より、本学の広報活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、本学人類学博物館ならびに人類学研究所では、下記のとおり映画「ダホメ」の上映会を開催いたします。

映画「ダホメ」は、フランスの美術館からベナン共和国へ返還されたダホメ王国の文化財をテーマにしたドキュメンタリーです。本作は、2024 年のベルリン国際映画祭で金熊賞を受賞し、東京国際映画祭でも上映されました。植民地時代の歴史を踏まえ、文化財返還の現代的課題を描いた作品として、国際的に高く評価されています。上映後には、吉田憲司氏（国立民族学博物館・名誉教授/前館長）による作品解説も予定しております。

つきましては、ぜひ取材、報道等を通じて、本上映会を広く一般の皆さまにご周知いただけますと幸いです。なお、恐れ入りますが、取材にあたっては、事前に南山大学人類学博物館までご連絡をお願いいたします。

記

- ◆タイトル : 2025 年度第一回映画上映会
- ◆上映作品 : 「ダホメ」(監督 マティ・ディオップ、2024 年、68 分、日本語・英語字幕)
- ◆日 時 : 2025 年 12 月 13 日 (土) 14 時 00 分～16 時 30 分 (開場 13 時 30 分)
- ◆会 場 : 南山大学 G 棟 G27 教室
- ◆参加費 : 無料
- ◆申込方法 : 下記のフォームよりお申込みください。
<https://app.nanzan.ac.jp/regform/regist/univ/jinruikenreception/joeikai20251213>
- ◆申込締切 : 2025 年 12 月 13 日 (土) 10 時まで
- ◆解説 : 吉田憲司氏 (国立民族学博物館・名誉教授/前館長)

以上

2021年、
ダホメ王国の文化遺産がフランスからベナンへ返還された。
そのとき現地では、何を問いかけたのか――



© LES FILMS DU BAL - FANTA SY - ARTE FRANCE CINEMA

ダホメ

第74回ベルリン国際映画祭(2024年)金熊賞受賞

DAHOMÉY

監督 マティ・ディオップ 2024年 68分 ベナン/セネガル/フランス 日本語字幕/English subtitles

2025年度第一回

映画上映会

12/13(土) 14:00 - 16:30

会場：南山大学 G棟・G27教室

解説：吉田 憲司 (国立民族学博物館・名誉教授/前館長)

司会：高柳 ふみ (南山大学人類学博物館・学芸員)

主催：南山大学人類学博物館・南山大学人類学研究所

問合せ先：南山大学人類学博物館 〒466-8673愛知県名古屋市昭和区山里町18
Tel. 052-832-3147 E-Mail: a-museum@nanzan-u.ac.jp

〈プログラム〉

13:30 開場

14:00 趣旨説明・映画上映

15:30 吉田憲司氏による解説
質疑応答

16:30 終演

参加無料/定員200名

要参加申込み URL ↓ または QRコードから ↑

<https://app.nanzan.ac.jp/regform/regist/univ/jinruikenreception/joeikai20251213>



2021 年 11 月

ダホメ王国の王室宝物 26 点が、パリの美術館を離れ、アフリカ・ベナン共和国へ返還された。これらは 1892 年、フランス植民地軍によって持ち去られた文化財の一部である。長く「祖国」を離れていたこれらの遺産を、ベナンの人々はいかに迎えたのか。

本作は、返還のプロセスを追いながら、アボメ・カラヴィ大学の学生たちの議論を通じて、過去と現在をつなぐ視点を描き出す。文化遺産が現地社会に与える影響とは――。

ダホメ王国

17 世紀、現在のベナン共和国南部に成立したダホメ王国は、三代にわたる王朝のもと、中央集権体制と強力な軍事力を背景に発展した。首都アボメでは王宮を中心に宮廷芸術や工芸が栄え、ブードゥー教も盛んに信仰された。1892 年、フランス軍がアボメを占領し、1895 年にはダホメ王国がフランス領西アフリカに編入された。

その後、1960 年にダホメ共和国として独立を果たし、政治的変動を経て 1990 年に民主化を実現、国名をベナン共和国に改めた。こうした歴史を伝えるアボメの王宮群は、現在ユネスコの世界遺産に登録されている。



© LES FILMS DU BAL - FANTA SY - ARTE FRANCE CINEMA

監督 マティ・ディオップ

1982 年パリ生まれ。セネガルにルーツを持ち、移民やアフリカの歴史、ディアスポラの経験などを題材にした作品を手がける。2019 年に発表した長編監督作『アトランティックス』は、カンヌ国際映画祭でグランプリを受賞し、さらにアカデミー賞国際長編映画賞にもノミネートされるなど、国際的に高く評価された。ほかに『In My Room』（2020）、出演作に『35 杯のラム酒』（2008）などがある。



© LES FILMS DU BAL - FANTA SY - ARTE FRANCE CINEMA

監督／脚本／プロデューサー／キャスティング：マティ・ディオップ プロデューサー：ジュディット・ルー・レヴィ、イヴ・ロバン
作曲：ウォリー・バダルウ、ディーン・プラント 撮影監督：ジョゼフィーヌ・ドゥルイン＝ヴィヤラール 編集：ガブリエル・ゴンザレス
製作：LES FILMS DU BAL・FANTA SY